

歌ノレノ래 144

国楽童謡『防牌鳶』(パンペヨン)

(방패연)

山根 傑郎

冬の遊び「凧揚げ」(연놀이)

1960年代後半に韓國の大邱でやんちやで明朗な少女時代を過ごした大阪・今里のある韓國スナックのママに訊いてみました。

(2008.11.29 PM6:00-7:30 焼肉「龍」)

私は、東大邱の田舎で育ちました。8人兄弟の下から2番目で、上はみんな男でした。上から2番目の兄は、ベトナム派兵に参加したそうで無事に帰ってきて、盛大な宴会(잔치)があったのを覚えています。大邱の冬はとても寒くて雪がよく降りました。それでも外で凧揚げ(연놀이:ヨンノリ)をして、よく遊びました。時期は陰暦の正月から一斉に凧揚げをするのです。それまでに兄たちは竹を削って骨格を作ります。そして障子紙を張ります。真ん中に丸い穴をあけて、鬼の顔など恐くて強そうな絵を描きます。最後にしつぼ(紐)を2本垂らせば完成です。本当に1日中、凧を飛ばして走り回っていました。なぜ走るかと言うと風に煽られて凧が暴れまわるのでコントロールするために自分もいっしょに走らなければならないのです。よく子ども同士で凧のケンカをしました。勝負のポイントは、相手のしつぼ(紐)を自分の凧の糸で切るのです。すると相手の凧は墜落します。(大昔に姜在彦先生の講義のなかで「凧の糸を鋭利に尖らして相手の糸を切る勝負であり、勝てば相手の凧を遠くに飛ばしてしまう」と言わされたように記憶している) 大邱の子どもたちは、ひと冬を1ヶの凧を大事に使って過すようである。シーズンが終わると惜しげもなく捨てます。燃やすとか特別な儀式もなく、捨てます。他にそり遊び(雪曳)もした。板やむしろにまたがって坂を滑り降りる遊びです。

国楽童謡の創作

現在の韓国の初等学校の音楽教科書には、伝来童謡(低学年) - 国楽童謡(中学年) - 民謡(高学年)のラインがある。それまでの西洋童謡一邊倒であった反省から国楽系の比率を高めて40%を占めるようになった。

1年	西洋16、伝来13、国楽0、民謡0、計29
2年	西洋18、伝来9、国楽0、民謡0、計28
3年	西洋15、伝来6、国楽2、民謡1、計24
4年	西洋21、伝来2、国楽3、民謡4、計30
5年	西洋17、伝来2、国楽1、民謡2、計22
6年	西洋11、伝来0、国楽3、民謡5、計19
合計	西洋98、伝来32、国楽9、民謡13計152 (実際に計算してみると国楽系は、35.5%)

国楽童謡『防牌鳶』(パンペヨン)

この『防牌鳶』(방패연·パンペヨン)は、作詞沈雨晟(심우성=シム・ウソン)、作曲朴範薰(박판薰=パク・ボムフン)であり、初等学校5年生の音楽教科書P52-53に載せられている。一人人形劇を演じる民俗学者である沈雨晟先生と私たち「むくげの会」は、80年代から交流があり、とてもお世話になった。私は『韓国演藝大鑑』(1962年)をプレゼントしていただき非常に感謝している。この教科書は、2002年3月1日に初版が出来、2008年3月1日に7刷になっている。2002年3月の新学期から始まった「第7次教育課程」として鳴り物入りで作られたものである。沈雨晟先生のお名前を見つけた時には「お元気でご活躍!」がとてもうれしかった。沈雨晟先生は、今や世界的に有名な「四物ノリ」(사물놀이)(1978年2月結成)の名付け親でもある。

作曲した朴範薰は、伝統音楽の巨匠であり、現在、中央大学校の総長である。今年2月の李明博大統領就任式の準備委員長を務めた。

『防牌鳶』の防牌とは盾のことであり、盾のように長方形をした鳶の意味である。子供たちが寝ている間にお父さんが作ってくれた凧を翌朝、子供たちはお父さんが見つけてくれるように高く高く飛ばす、というほのぼのとした父子の愛情を描いた傑作である。

방 패 연 「防牌鳶」(パンペヨン)

보통 韓国歌
장수상 작사
박병운 작곡

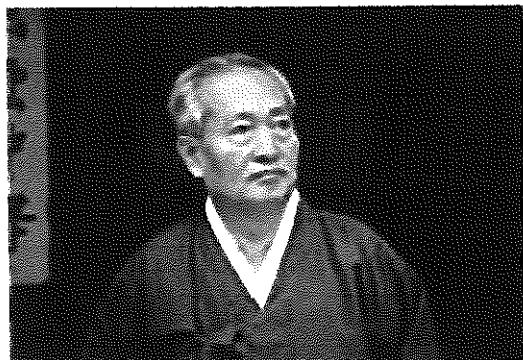
팔 랑 팔 랑 방 - 패 연 우 - 리 오 - 빠 - 연 -
파 란 하늘에 서 너 을 너 을 춤 - 을 추 - 네 요 -

1. 우리 남 - 매 침 들 - 이 - 고 길 떠 나 시 - 며 -
2. 어 - 젯 - 밤 길 떠 - 나 - 신 우 리 아 베 - 님 -
3. 어 - 젯 - 밤 길 떠 - 나 - 신 우 리 아 베 - 님 -

만 들 어 주 고 떠 나 가 신 연 이 랍 - 니 다 -
지 - 금 은 - 어 - 디 쯔 가 셨 을 - 까 요 -
아 베 님 좀 - 보 - 시 게 늘 이 날 - 아 라 -

ひらひら ひらひら 防牌鳶 (パンペヨン) お兄さんの凧
青い空に ゆらゆら ゆらゆら 踊るよ

- 私たち兄妹が眠っている間に 出かけられた
お父さんが作ってくれた凧です
- 昨夜 出かけられたお父さん
今頃はどこまで 行かれたか
- 昨夜 出かけられたお父さん
お父さんが 見つけるように 高く飛べ



沈雨晟（심우성=シム・ウソン）

号：南泉

1934年6月28日出生

出生地：忠南公州

公州民俗劇博物館館長

1960年弘益大学校新聞学科卒業

2001年5月～文化財委員会副委員長

4分科委員長

ウリ文化研究所館長。1995年～忠南文化財委員

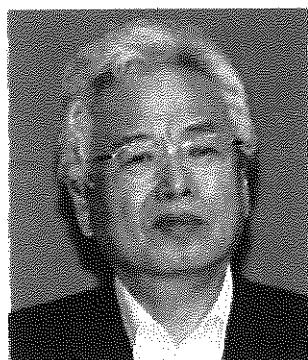
職業：文化芸術人、文化芸術機関団体人、大衆文化演芸人—演劇、ミュージカル人

作品：居昌別神クッ 沈雨晟一人劇場 (거창별신굿 심우성일인극장)

鳥よ鳥よ 沈雨晟一人劇場 (새야새야 심우성일인극장)

魂よ魂だな 沈雨晟一人劇場 (넋이야 넋이로구나 심우성일인극장)

(ヤフーコリアの人物検索による)



朴範薰（박범훈=パク・ボムン）

1948年4月12日出生

出生地：京畿楊平

中央大学校総長

1998年東国大学校大学院宗教哲学博士

2008年1月第17代大統領就任準備委員会委員長

2007年ハンナラ党第17代大統領選挙中央選挙対策委員会

文化芸術政策委員長

2006年9月～中国中央音楽学院講座教授

職業：教育研究学術人、大学教授、文化教育人、音楽人、

作品：1998年 「天命」（천명）作曲

(ヤフーコリアの人物検索による)